

張汝京(Richard Chang)氏の略歴と人物像

略歴：

台湾大学卒業後バッファローニューヨーク州立大学において工学修士取得、更に別の公開大学にて電子工学の博士号を取得、テキサスインスツルメンツにて20年勤務。その後アメリカ、日本、シンガポール、イタリア、台湾において10か所の工場を創設し半導体の経営に関わり、SMICのトップに就任。2009年11月10日当社を辞職しLEDの研究開発と製造分野へ参入、3年足らずで中国内の4社へ投資しLEDの川上の材料から川下の照明まで総額35億人民元超を投入。また上海で最も有名で海外との教育的な連携を持つ半導体学校も設立。

経歴：

テキサスインスツルメンツで培った半導体技術経験を元に、世界各地で20近い半導体工場を設立。

2000年4月上海に移動しSMICを設立し3つの8インチ工場を建設、天津のモトローラの8インチ工場を1か所買い取り、更に北京の12インチ工場も1か所手掛けた。

2003年SMICの売上は3.65億US\$に到達、半導体業界のトップとの差は大きいもの高成長率企業として注目を浴びる。

2004年上半期の売上は4億US\$に到達し2003年の総売り上げを上回る。同年3月香港とアメリカ両市場に上場し、世界3大ファブに名乗りを上げる。

2009年11月10日当氏はCEO辞任を発表、その理由としてTSMCからの特許侵害問題指摘の可能性。

人物像：

モットーは身をもって模範者となる、毎朝早朝SMICの駐車場に1300ccの小さな車を自身で運転し出社。休みの日は決まってキリスト教会へ赴く。生活は質素で残業もいとわない。出張の飛行機はエコノミークラスを利用し、宿泊費用節約の為にほとんどが日帰り。

「敏腕半導体工場設立者」と言われる本人は規律を重んじ、その様相はおもいやりで満ちている。叱咤激励の音量は隣の部屋の人をもピリッとさせるが、その心は非常に寛大で、他人の過ちを許し、決して冷遇はしない。「厳格であるが厳しくはない」というのは同氏の魅力で、多くの半導体人材を獲得してきた要因と言える。英語をSMICの第一使用言語とし、多種多様な人材へ配慮をし、その人材の能力を総合的に有効活用したのが管理手法であった。そしてそのCEOとしての理想は中国半導体事業を成功させるという使命感の元、従業員と共にそれを実現していくことであった。社内運動会はそのひとつの表れで、従業員の同氏に対する印象は非常にまじめな人物。

SMICの製品上の要求は厳しく、工場設立当初、ごみや粉塵が半導体の不良に直結することからクリーンルームの空気清浄度も高かった。社内では部門別に清掃の分担を行い、自身が防塵服を付け従業員と共に社内のクリーンルーム内を見回った。

上海の工場周辺の環境整備にも配慮し、「SMIC公園」を形成。緑地化を推進し同氏の年少の時代を思い出し快適な生活空間を築いた。現在同地区にはSMICの900家庭が居住しており従業員には家族同伴での生活を勧めている。SMICでの就業を短期間で終わらせず、SMICを家庭生活の中心となるよう長い期間を見据え、上海で生活基盤を築き従業員の家族一体と強固なつながりを構築するという方針である。この地区内には教育関連が特によく整備されており、幼稚園、小中学校がある。同氏の子女もここに通っている。現在上海地区の他の家庭の子供も入学しており、SMIC以外の生徒の割合は6割に達している。

中文原文 URL: <https://baike.baidu.com/item/张汝京/1626953?fr=aladdin>